

平成 2 1 年度 実 施 事 業	<b>事務事業名</b> キウシト湿原緑地保全事業
----------------------	---------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出
小分類	2	自然環境の保全と回復
主要な施策	2	貴重な自然を保全するための地域指定
事務事業番号	001	事務事業コード 22122001 事業開始年度 平成 1 0 年度 事業終了年度 平成 2 4 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	キウシト湿原緑地保全事業費
------	------	------------	---------------

部 名	都市整備部	グループ名	都市計画・公園 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) キウシト湿原
手 段 ( 事 業 の 内 容 ・ 活 動 )	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) (全体計画) ・ 湿原現況調査 地下水位、水質、湧水量、植生調査 平成 1 0 年度～平成 1 8 年度 ・ 用地取得 面積 4 7, 5 3 8 m <sup>2</sup> 平成 1 5 年度～平成 2 4 年度 ・ 施設整備 立入防止柵、木道、観察デッキ等 平成 1 8 年度～平成 2 4 年度 (平成 2 1 年度実施) ・ 木道設置 1 0 3 m ・ 供給水施設設置 管路工、取水施設、沈砂地施設
目 指 す 姿 ( 成 果 )	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 多様な動植物が生息する湿原を保全するとともに、湿原を自然体験や野外学習、レクリエーションの場などとして活用する。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単 位	区 分	21年度 実 績	22年度 目 標	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標
成 果 指 標	事業進捗率	%	目標値	68	74	83	100	
			実績値	68				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円	15,000	17,000	20,000	46,000		66,000
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円	15,000	15,300	19,900	45,000		64,900
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	1	1,800	2,100	5,000		7,100
合 計				30,001	34,100	42,000	96,000	0	138,000
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	1,903	1,994			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		1,903	1,994			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 本事業は市街地に存する貴重な湿原の保全と活用に向け、用地取得と施設整備を行うものであり、行政が事業主体となることは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 用地取得や施設整備が進み、湿原の保全と活用に向けた環境が整ってきている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 事業の継続実施により、成果を向上させることができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 施工方法や使用資材の選定において、コストをできる限り削減できるよう配慮し、当初より事業を進めている。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	キウシト湿原は環境省の「日本の重要湿地500」に選定され、また特別緑地保全地区に指定されている。この市街地に存する貴重な湿原の保全と活用を図るため、事業を維持する必要がある。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）